資料03

クリスマスマーケット in サンコーパレットパーク

開催終了のご報告

昼は多世代が主役のステージやマルシェ、
夜は灯と食のおもてなしで賑わいある空間に。

主催：瑞穂市

運営：瑞穂市中山道まちづくり推進委員会

委員会 Instagram ▶

協賛の皆さま　ありがとうございました！

サンメッセ総合研究所 サンメッセ株式会社，大和ハウス工業㈱岐阜支店, 日本水機工㈱
㈱ヒマラヤ, 岐阜日産自動車㈱, 中部急送株式会社, ㈱岐阜サウンドシステム, クラフトラボ.早川,
株式会社加藤繊維, シーシーエヌ株式会社, photo_elephant, SaMメディック, 三承工業株式会社,
㈱松野組, ㈱栄眞工業, ㈱志生組, アルファー電子工業㈲, 中部電設㈱, ㈱マスト, 桑原組㈱, 焼き鳥　和松
ぎふ農業協同組合巣南支店, ㈲吾空, 水道屋さんキタクラ, 桃太郎寿し, ㈲馬渕興業, ㈲オールクリーン, 丸弘建設㈱
スペシャルサンクス：巣南中学生ボランティアのみなさま

1. イベント概要

名称	クリスマスマーケット in サンコーパレットパーク
場所	中山道大月多目的広場（サンコーパレットパーク）
開催日時	令和5年12月23日（土）13:00～20:00
プログラムの内容	① クリスマスマルシェ ② ステージ発表 ③ トークセッション ④ 竹ランタンアート ⑤ クリスマスイルミネーション ⑥ 焚火・焚火Bar ⑦ フードチケットの無料配布 ⑧ 隠しプレゼント ⑨ ドッグラン・ドッグ迷路 ［同時開催・試験的に実施］

（表）

（裏）

▲チラシ（「広報みずほ」と共に全戸配布）

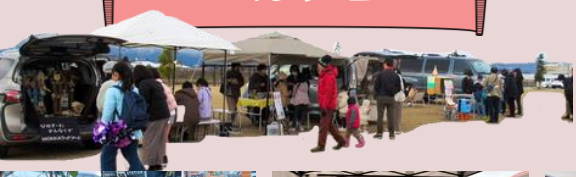
2. イベントの様子

ステージ発表 トークセッション

スラックラインガンバデ
パフォーマンス ▶

▲サンメッセ総合研究所代表
田中信康氏

マルシェ



見どころ！

各お店の「SDGｓポイント看板」

人や地球に優しい取り組みの紹介！

Check！！

ワンオーガニックマルシェみずほとコラボ！
小学生・高校生ショップ、有機・自然農の農家、自然素材の雑貨店、
こだわりフード、無料体験やワークショップなど…

合計37の店舗が並びました！

夜の憩い

SDGｓな隠しプレゼント10人限定

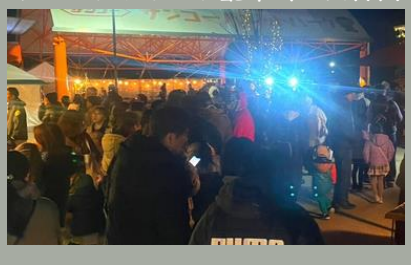
約200個の竹ランタンと木々のイルミネーション

竹ランタン150個のプレゼント

＼トークセッション！／
瑞穂市の歴史
理想のまちづくり

▼竹カップの焚き火Ｂａｒ

▼フードチケット配布時の大行列



▼焚き火を囲み飲食しながらお喋り

3. イベントの目的

本イベントは、社会実験として以下を検証することを目的に、実施しました。

サンコーパレットパークを中心とした、にぎわいの創出

<具体的なテーマと取り組み>

①多世代交流

子育て世代が育児をしたくなるまち、年を重ねても住み続けたいまちを目指すため。

取り組み

- ステージ発表
- トークセッション
- イルミネーション等の光の演出
- 小・中・高校生のマルシェ出店
- 巣南中学校にてボランティアの呼びかけ

②SDGsの考え方の導入・啓発

持続可能な社会をつくれるまちを目指すため。

取り組み

- 竹を使ったランタンの使用とワークショップ
- 出店店舗のSDGsポイント看板の掲示
- 無農薬農産物を使用したメニューの無料提供
- 竹カップによる飲料提供

③夜間の利用・火気の利用

キャンプやBBQ、イルミネーション等を楽しみ多世代が集う公園を目指すため。
焚火やキャンプは、災害時の訓練にもなり得る。

取り組み

- 焚火
- 竹ランタンやイルミネーション等の光の演出

④冬の広場を利用したイベント実施：暴風対策

冬場でも人が集う広場を目指すため。
特に、冬場は西・北から吹く暴風によりイベント開催が困難かつ危険であり、検討が必要。

取り組み

- 車を芝生に乗り入れた出店形態によるマルシェの開催
- ステージトラックやテントを西・北側に設置（強風時には扉を閉じる）

⑤各媒体による集客効果増大

各媒体を活用し、より多くの賑わい創出を目指すため。

取り組み

- チラシ
- チラシの広報への挟み込み
- Instagramによる投稿
- 看板設置（不良品材の使用、小・中学生によるデザイン）

4. 社会実験の結果

― 来場者数 ―

約 1000 人※1

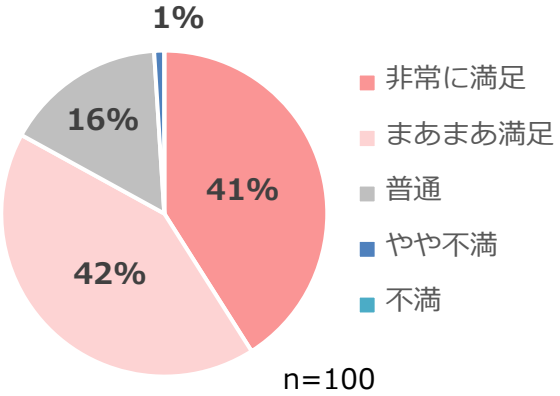
多くの方にご来場いただきました。

▲ステージ発表の様子

― イベント満足度 ―

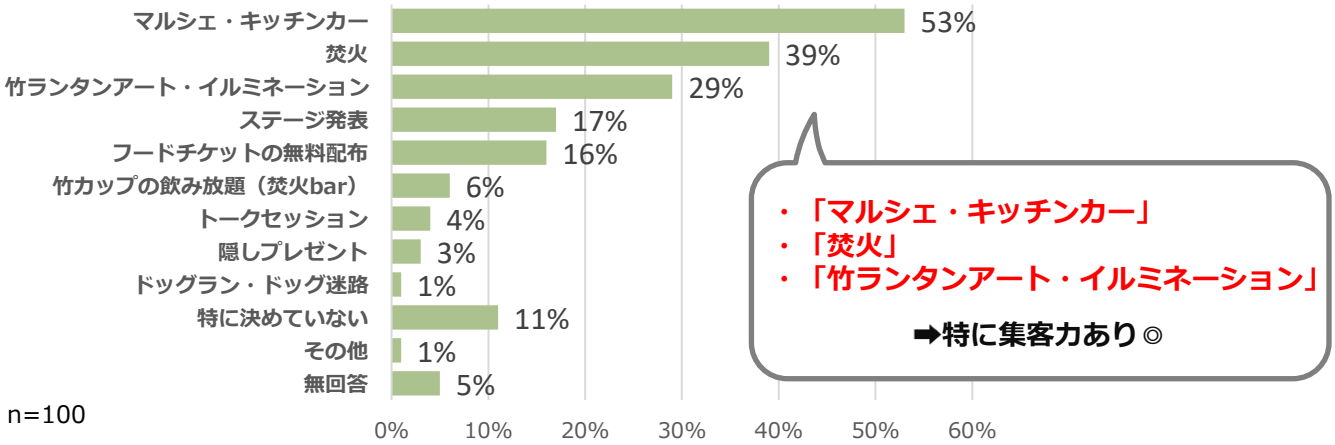
来場者アンケート※2 にて

80%以上に満足していただけました。



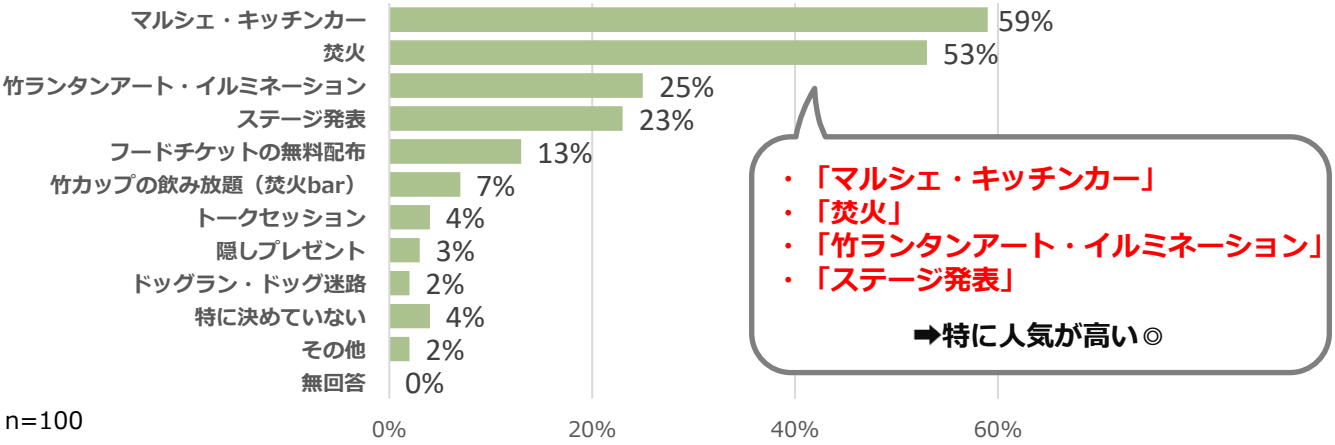
― “人を呼ぶ”プログラム ―

Q. お目当てのプログラムを教えてください。（複数回答可）（来場者アンケート※2より）



― 人気のプログラム ―

Q. 特に良いと感じたプログラムを教えてください。（３つまで回答可）（来場者アンケート※2より）



4. 社会実験の結果

①多世代交流

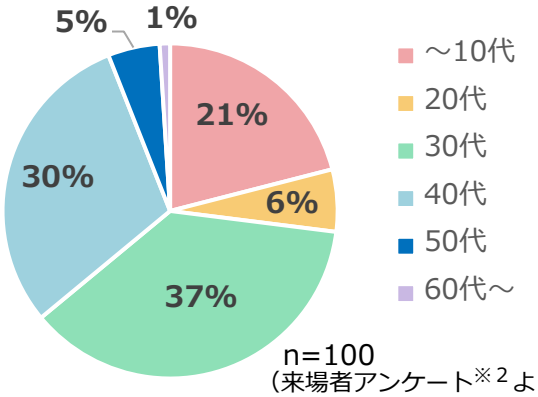
― イベントづくり ―

小学生から、ご高齢の方まで
多世代にご参加いただきました。

・ステージ発表者　・マルシェ出店者
・竹ランタンづくり　・看板製作
・竹ランタンの配置レイアウト作成
などなど…

― イベント来場者 ―

10代から60代以上まで
幅広くご来場いただきました。



n=100
（来場者アンケート※2より）

②SDGsの考え方の導入・啓発

多くの人がSDGsに触れるきっかけになりました。

竹を使った
イルミネーション

SDGsポイント看板の掲示

無農薬農産物を
使用したメニューの
無料提供

竹カップによる飲料提供

③夜間の利用・火気の利用

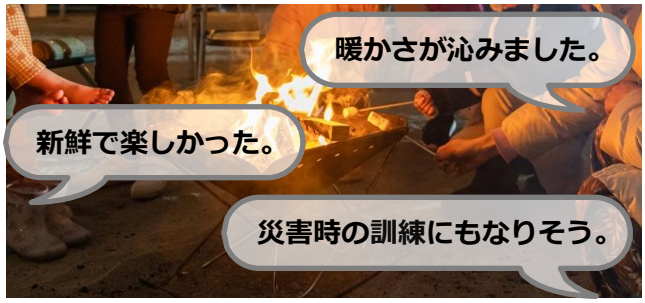
― 夜間利用に対する反応 ―

夜の部にも多くのお客さまが楽しまれていました。

▲18:30ごろ撮影（ドームシェルター内）

― 焚火利用に対する反応 ―

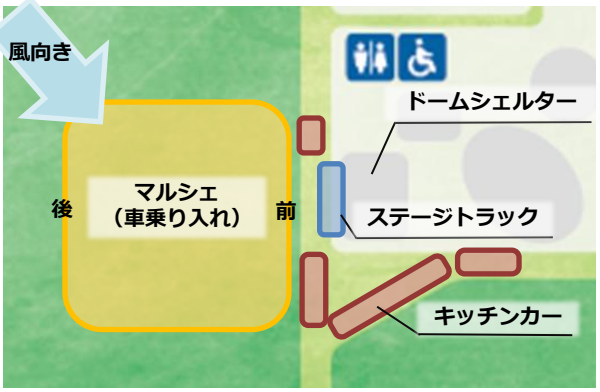
焚火の周りに多くの人が集まりました。



（来場者アンケート※2等より）

④冬の広場を利用したイベント実施：暴風対策

― 会場レイアウト ―



出店店舗（車乗り入れ）、ステージトラック、テント等を西・北側に配置することで、
暴風対策となり、安全にイベントを実施できました。

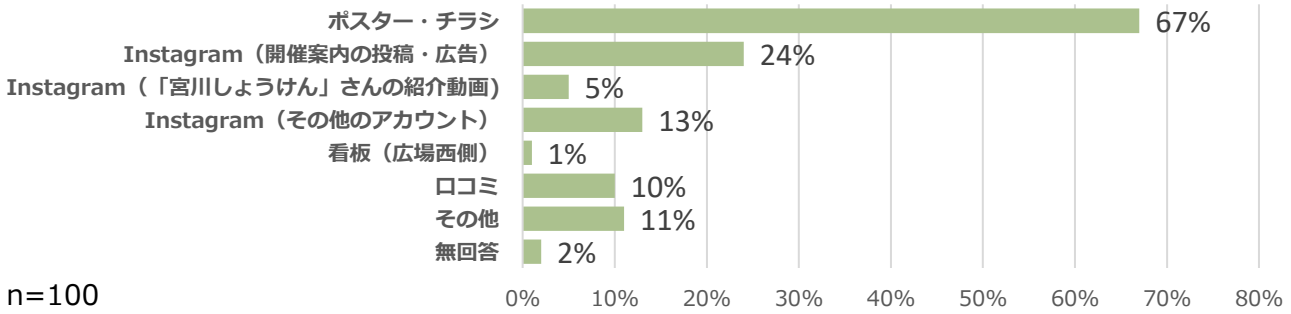
・車の乗り入れは、出店者から好評◎
「搬入搬出の負担が少ない」
「荷物を置く場所があってとても楽」

・輸送用トラック（今回使用したもの）は、強風時はウイングを閉じる必要がある。

・ステージとマルシェが分離されてしまうため、一体感を持たせる仕組みづくりが必要。

⑤各媒体による集客効果増大

Q. イベントを知ったきっかけを教えてください。（複数回答可）（来場者アンケート※2より）



― チラシ ―

令和5年12月1日（金）～
「広報みずほ」に折り込み、配布

最も訴求力あり◎

― Instagram ―

令和5年12月10日～ **発信**
・通常投稿　4
・リール投稿　2

平均リーチアカウント数
・通常投稿　486.8
・リール投稿　4514.5

― 看板 ―

令和５年12月17日(日)～
芝生広場西側に設置

SDGsな宣伝方法
☑不良品材を使用
☑子どもたちが制作

※１　目視による推計
※２　<来場者アンケート概要>●日時：12月23日(日)　13:00～20:00（イベント当日）●対象：イベントの来場者
●方式：webアンケート（QRコードを設置し、適宜声掛けにより回答を依頼）●回答数：100件